

第3回 学校運営協議会 記録

		学校名		横手市立横手明峰中学校			
開催日時, 時間, 場所		令和5年2月9日(木)					
出席者数		6名		欠席者数		4名	
協議案件		これまでの評価について意見交換 職場体験学習について生徒を交えて意見交換					
「○これまでの取組で評価できる内容」 「●課題と考えられる内容」 「☆今後に向けての提言等」		<p>これまでの取組を振り返って</p> <p>評価1「学校評価」から</p> <p>○●ほとんどの項目が7月から12月にかけて改善を示している。「よこて大好き」を活用したふるさと学習にはなお一層のこ入れが必要。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆「秋田の言葉」と「よこて大好き」のコラボで面白い取組ができるのではないか。</p> <p>評価2「保護者アンケート」から</p> <p>○保護者からの評価も昨年度と比較して良好なものとなっている。</p> <p>●保護者がどれくらい学校の取組を正しく理解してくれているだろうか？以前お願いして作成していただいた、学校の取組を表した横文字等の学校用語集はとてもありがたい。同様なものを保護者にも配付することで、より学校の取組を理解してもらうことに繋がるのではないかと。</p> <p>評価3「CSアンケート様式4」から</p> <p>○導入初年度であったが運営はほぼ計画通りに行うことができた。</p> <p>○地域の人材や素材を活かした学習が今年は多く行われ生徒の成長の助けとなった。</p> <p>●よい取組をしても、高校生になると後退している例が散見される。高校との接続の面で物足りなさを感じる。</p> <p>☆「あいさつ」のように簡単なことでよいので地域ぐるみで育てていく意識が高まれば、CSに対する地域の理解も高まり、評価の面にも現れてくるのではないかと。</p> <p>キャリア学習について (生徒の来年度に向けた希望を受けて)</p> <p>○意欲的なのは素晴らしい。このような子どもたちに是非横手に戻ってきて働き手となってほしい。ただ、1日だけ見学するだけならその仕事の本当の魅力は伝わらない。今でも想像できる部分は多いと思うので、自分の将来につなげるためにはもっと中に食い込んでみるのが肝要。</p> <p>☆そもそも、子どもたちが何をしたいのか、何を知りたいのかを把握することが大事ではないか。そのうえで学校側がセレクトするなどのやり方があるのでは？</p> <p>☆まずは先生方が産業に関する学習をすること。実際に先生方が現場に足を運んでみることで、子どもたちに何を見せたいのかが浮き彫りになり、それが内容の充実に繋がっていくものと思われる。</p>					
次回の連絡		来年度1回目の会合 未定 4, 5月中に開催予定 内容：学校長の経営方針CS様式1の承認 令和5年度CS計画立案について					
記録者		横手明峰中学校 教頭 渡會 寛之					